

北九州市新成長戦略工程表（更新版）

平成 25 年度からの 3 年間（平成 27 年度まで）における
18 の『リーディングプロジェクト』
4 つの『雇用創出に向けた取り組み』
について、
施策毎の実施スケジュール及び目標を整理したもの

※平成 26 年 11 月 5 日第 6 回新成長戦略推進本部会議にて更新

【工程表目次】

方向性Ⅰ 地域企業が元気に活動し続ける環境整備

1. 地域企業のビジネス展開を推進する組織横断的な体制の整備	1
2. 中小企業の競争力向上	2
3. 地元製品・サービスの利活用の推進	5
4. 地元企業の高度化・新製品開発支援	6
5. 地域活性化のための人材育成の強化	7
6. 充実した物流基盤を活用した物流振興	8

方向性Ⅱ 高付加価値ものづくりクラスターの形成

1. 次世代自動車産業拠点の形成	9
2. 我が国をリードするロボット産業拠点の形成	10
3. 豊富な実績等を活かした環境産業拠点の形成	11

方向性Ⅲ 国内潜在需要に対応したサービス産業の振興

1. 高齢者を中心とした健康・生活支援ビジネスの推進	12
2. にぎわいづくりによる集客交流産業の拡充	13
3. サービス産業の高付加価値化の推進及び情報通信産業の集積	15

方向性Ⅳ グローバル需要を取り込む海外ビジネス拠点の形成

1. アジアに貢献する都市インフラビジネスの展開	16
2. 海外工場のサポート拠点の形成	17
3. 北九州発ブランドの海外ビジネス支援	18

方向性Ⅴ 地域エネルギー拠点の形成

1. 省エネルギー（ネガワット）の推進	19
2. 再生可能エネルギー・基幹エネルギーの創出拠点の形成	21
3. 安定・安価で賢いエネルギー網の構築	22

雇用創出に向けて

1. 若年者の就業意識の啓発や能力開発・就職活動への支援	23
2. 女性が活躍する産業都市づくりの推進	23
3. 能力や意欲を生かした中高年齢者や障害者の就業促進	24
4. 医療・介護・福祉・子育て支援分野での計画推進による雇用創出	24

【新規雇用創出目標数】

(単位：人)

方向性	I	II	III	IV	V	その他	合計
雇用者数	1,000	700	3,000	100	200	3,000	8,000

北九州市新成長戦略 工程表

(目標) 地域企業のビジネス展開を推進する組織横断的な体制の整備

雇用創出計135人

3年間の
目標

目指すべき姿

達成手段(施策)

平成25年度

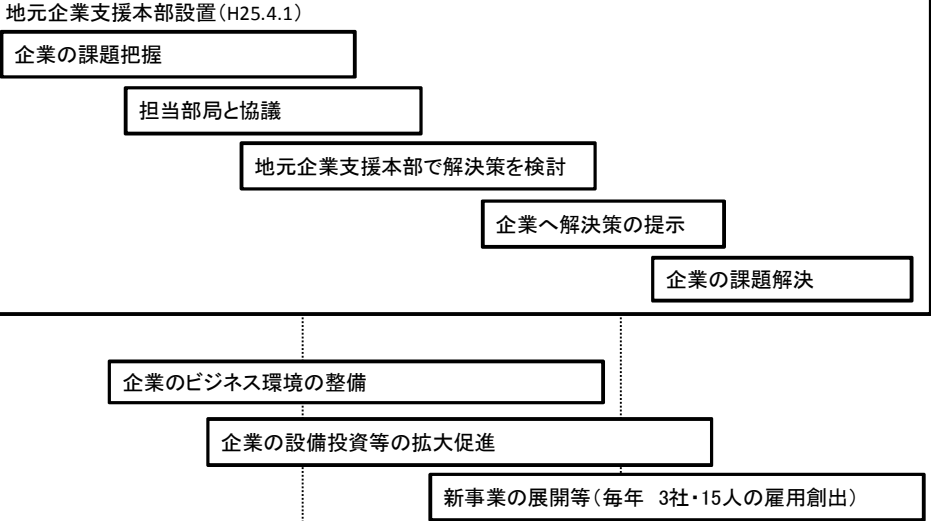
平成26年度

平成27年度

地元企業の課題やニーズを把握し、市役所横断的に解決できる体制の整備

地域企業が元気に活動し続ける環境整備を図ることを目的に、市役所組織横断的な体制を構築します。

地元企業の情報収集と、地元企業支援本部の設置運営

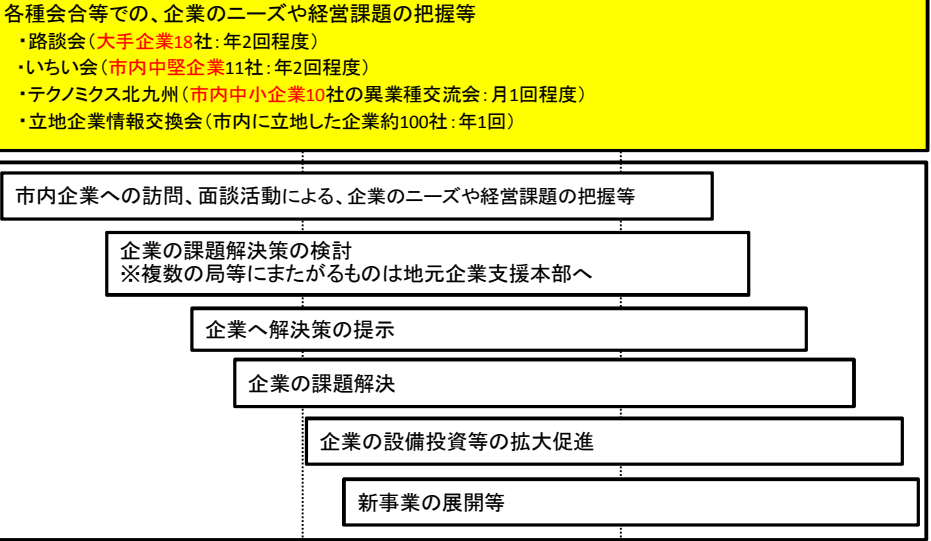


雇用創出45人

市内企業団体との交流を通じた企業ニーズの把握

地元企業との交流や市内企業訪問を通じて企業ニーズの把握に努め、事業規模拡大や新規事業展開を促します。

市内企業交流会、立地企業情報交換会、市内企業への訪問等による、企業ニーズの把握とそれに対応した支援の展開



雇用創出90人

北九州市新成長戦略 工程表

(目標) 中小企業の競争力向上(1)

					雇用創出計403人	
	目指すべき姿	達成手段(施策)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	3年間の目標
中小企業の経営支援	中小企業の経営力の強化を図るため、経営安定化のための相談業務や融資、経営基盤強化に向けた人材育成、競争力強化に向けた販路開拓、技術開発などの支援施策の充実を図ります。	企業間取引促進のための情報の発信支援、販路開拓の推進	大規模展示会等への出展支援、共同出展、巡回指導・マッチングコーディネートの実施			雇用創出113人
			(産)応募・選定企業、(官)北九州市、FAIS		販路開拓に向けた総合支援	
			「北九州オンリーワン企業」の認定		「北九州オンリーワン企業」の認定	
			国内外に向けプロモーション			
			(産)オンリーワン認定企業(14社)+今後認定される企業、(官)北九州市			
	資金ニーズに対応する十分な貸付枠の確保、経済情勢に応じた資金繰りが行なえるための必要に応じた制度改正の実施	資金ニーズに対応する十分な貸付枠の確保、経済情勢に応じた資金繰りが行なえるための必要に応じた制度改正の実施	中小企業融資による市内中小企業への資金繰り支援			雇用創出120人
			融資制度の運用(あり方)にかかる意見交換(年3回程度) 融資取扱金融機関、福岡県信用保証協会、商工会議所 (官)北九州市			
			信用保証協会への保証料補てん、損失補償による資金調達円滑化			
			専門家を配置する資金繰り相談窓口における支援			
			北九州金融懇話会への参加(市内の経済・金融情勢にかかる情報交換:月1回)			
			福岡県中小企業経営強化支援協議会への参画 福岡県、北九州市、福岡市、県内地域金融機関、福岡県信用保証協会、中小企業基盤整備機構、福岡県中小企業再生支援協議会、地域経済活性化支援機構 ほか			
	中小食品製造業に対する商品の企画・開発から試作・製造・販売までの一貫した支援、新商品のブランド化(再掲)	中小食品製造業に対する商品の企画・開発から試作・製造・販売までの一貫した支援、新商品のブランド化(再掲)	中小食品製造業の新商品開発、販路開拓等の支援			(雇用創出24人)
			新商品の開発	食の新ブランド「北九いいと」のプロモーション		
				新商品の販路開拓	販売促進に向けた総合支援	
			(産)プロジェクト参加企業等、専門家 (官)北九州市、FAIS			
	中小建設業の本業における経営体質改善や、経営資源を活用した新事業展開による収益力向上の支援	中小建設業の本業における経営体質改善や、経営資源を活用した新事業展開による収益力向上の支援	新分野進出などの事例等を学ぶためのセミナー開催			雇用創出15人
			収益力向上や新事業展開を支援するための専門家派遣を実施		新事業展開支援 収益力向上支援	
			新事業展開にかかる経費の一部を助成			
					助成金を活用した事業化件数 6件	

北九州市新成長戦略 工程表

(目標) 中小企業の競争力向上(2)

	目指すべき姿	達成手段(施策)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	3年間の目標
中小企業の経営支援	中小企業の経営力の強化を図るため、経営安定化のための相談業務や融資、経営基盤強化に向けた人材育成、競争力強化に向けた販路開拓、技術開発などの支援施策の充実を図ります。	地域企業のものづくり力強化のための産業用ロボットの導入を支援するための組織体制整備(再掲)	産業用ロボット導入支援センター開設 セミナー等の開催(ロボット導入事例の紹介等) 専門家による生産ラインの改善提案 産業用ロボット導入支援補助金によるロボット導入支援 「ロボット道場」による生産現場のロボット活用を担う人材の育成 ロボット周辺装置の開発支援を行うシステムインテグレーターの育成			(雇用創出20人) 企業投資額 2.7億円
			(産)安川電機、市内中小企業、(官)北九州市、FAIS			
	ネットワーク作りやセミナーの開催などを通じた「知恵のサポート」の取り組み(再掲)		サービス産業の生産性向上に向けたセミナーの実施 生産性向上の取り組みを指導できる人材の育成、活用 サービス産業事業者への生産性向上の考え方、アプローチ方法の普及啓発促進 サービス産業事業者のネットワークづくり、ビジネスマッチングの場の提供 サービス産業経営者ネットワーク、支援機関ネットワークの構築			(雇用創出25人)
	新技術・新製品開発に取り組む中小企業に対する研究開発費の助成		研究開発案件の選定・助成	研究開発案件の選定・助成	研究開発案件の選定・助成	雇用創出27人 製品化・実用化 11件
			(産)補助金採択企業 (学)大学等 (官)北九州市		新製品開発・事業化の促進	
	中小企業支援センターにおける窓口相談や専門家派遣の実施、創業・第二創業に取り組む事業者の支援		中小企業支援センターによる窓口相談、専門家派遣の実施 創業セミナーの実施 ビジネスプランコンテストの開催 北九州ベンチャースクール [※] の開催 中小企業支援体制の強化			雇用創出35人 事業化件数 15件
	企業とデザイナーが出会う場の創出、地域企業の競争力を強化		デザイン勉強会、デザインシンポジウム開催 グッドデザイン賞の受賞企業輩出 デザイン力強化による成功例の紹介 高付加価値化・競争力強化の推進			雇用創出15人 グッドデザイン賞受賞企業 9社

北九州市新成長戦略 工程表

(目標) 中小企業の競争力向上(3)

	目指すべき姿	達成手段(施策)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	3年間の目標
地域商業の活性化	中小企業の経営力の強化を図るため、経営安定化のための相談業務や融資、経営基盤強化に向けた人材育成、競争力強化に向けた販路開拓、技術開発などの支援施策の充実を図ります。	新たな事業者への支援	商店街への出店助成、専門家を活用した経営支援 (産)新規出店企業 (官)北九州市、FAIS中小企業支援センター			雇用創出48人 新規出店15件
		商業リーダーの育成、若手事業者等への活動支援	次世代商業リーダー育成・講演会の開催			新規事業化3件
		魅力ある店づくりの支援	ネットショップ売り上げアップ塾、商業セミナーの開催			受講者 300人
		商店街と大学、地域、まちづくり団体、子育て支援施設、医療機関などの多様な事業主体との連携促進	戦略的地域商業活性化支援事業等の活用による連携の推進 (産)補助金採択商店街 (官)国、北九州市 「赤ちゃんの駅」のPR活動、登録施設数の拡大 「きたきゅう健康づくり応援店」の募集・登録支援、PR活動による登録店の拡充			制度活用件数 3件 登録施設数の拡大 登録店数 650店舗
		商店街の魅力を高める取り組みの支援	LED照明等の省エネ設備の設置補助 商店街等による新規のイベント開催支援			制度活用件数 25件
ベンチャー企業の創出・育成	起業家が生まれやすい風土の醸成	インキュベーション施設の管理運営(起業相談、インキュベーション室の提供、企業間交流の促進)	ビジネスプランコンテストの開催	北九州ベンチャースクールの開催	創業環境の充実	雇用創出30人
		インキュベーションマネージャー(専門家)を配置し、創業までのバックアップ及び創業後の販路開拓等を支援				
	創業間もない企業の育成支援	ベンチャーイノベーションクラブの運営支援 ・KVICフェア等の実施 ・セミナー交流会等による起業家意識の醸成 ・展示会出展経費の助成 ・会員企業による自主的研究活動			ベンチャー支援体制の強化	卒業企業数 9社
	研究開発から事業化・知財戦略まで一貫した支援体制の構築	インキュベーションマネージャー(専門家)を配置し、創業までのバックアップ及び創業後の販路開拓等を支援 (産)市内ベンチャー企業 (学)大学、研究機関 (官)北九州市、FAIS ベンチャー支援のためのネットワーク構築・強化 政策金融公庫との連携によるスタートアップ融資、金融機関等と連携した創業相談・ハンズオン支援、ものづくり系スタートアップ支援など (産)政策金融公庫、金融機関、会議所他 (官)北九州市、FAIS				

北九州市新成長戦略 工程表

(目標) 地元製品・サービスの利活用の推進

					雇用創出計7人		
	目指すべき姿	達成手段(施策)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	3年間の目標	
地元製品・サービスの利活用の推進	<p>市民に地元の製品やサービスに誇りを感じてもらい、使ってもらうことが重要です。</p> <p>そのため、地域企業の認知度を高め、本市で生産された製品やサービスなどが、市民、地域企業、行政などで利活用されるような取り組みを進めていきます。</p>	<p>地域企業が開発した製品等の公共事業等での活用策の検討及び、地域企業等での利活用の取組推進です。</p>	<p>地元製品・サービスのPR戦略の策定</p> <p>象徴的公共事業における地元製品活用の仕組み検討</p> <p>活用すべき地元製品(「北九州エコプレミアム」選定製品など)の決定</p> <p>地元製品街かどショールームの設置</p>	<p>地元製品・サービスのPRの実施</p> <p>象徴的公共事業の選定・活用の推進</p> <p>企業等への地元製品の活用要請</p> <p>街かどショールームの設置、PR 市内の地元製品のPRプレートの設置、PR</p>		<p>雇用創出 若干名</p> <p>支援対象となる地元企業製品の認知度向上:前年比プラス10%</p>	
			<p>(産)市内企業 (官)北九州市</p>				
			<p>市内で生産されている環境負荷低減に寄与する製品・サービスを「北九州エコプレミアム」として選定し、様々なPR活動、販売拡大支援を実施</p>	<p>エコプレミアムの選定</p> <p>紹介カタログの作成配布・展示会等への出展</p> <p>選定製品の販売拡大促進</p>	<p>(産)市内企業、北九州商工会議所等 (官)北九州市、FAIS、西日本産業貿易コンベンション協会</p>	<p>雇用創出 若干名</p> <p>選定件数 延べ200件</p>	
<p>地元製品の市役所での利活用推進</p>	<p>北九州市版トライアル発注制度の運用・充実</p> <p>市内中小企業が技術開発助成制度等を活用して開発した新商品を公募</p> <p>製品を「トライアル発注新商品」に認定</p> <p>市役所内部での利活用</p> <p>モニタリングのフィードバック、販路拡大支援</p>	<p>(産)市内中小企業 (官)北九州市</p>	<p>雇用創出7人</p>				

北九州市新成長戦略 工程表

(目標)地元企業の高度化・新製品開発支援

～産学連携による地域企業の競争力強化と次代を担う新産業の育成～

雇用創出計100人

目指すべき姿	達成手段(施策)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	3年間の目標
研究開発・事業化支援の強化	<p>環境・エネルギー、素材・部材など本市が強みを持つ分野について、地域企業のニーズと大学・研究機関が保有する研究成果とのマッチングを行うなど、産学官連携による新事業展開、新産業創出を図ります。</p> <p>研究者情報に関するデータベースの整備や情報発信、産学連携フェアの開催などによる産学官ネットワークの形成</p> <p>企業や大学等のニーズ・シーズの把握などによる、研究会設置や研究開発プロジェクトの企画、創出</p> <p>参入可能性調査、開発助成、試作品づくり、企業間連携の橋渡しなど、基礎から実用化までの一貫した支援の実施</p> <p>地域企業や大学が保有する知的財産の共有や知的財産の活用を推進</p>	<p>実効性のある産学官ネットワークの形成 研究者情報等の基本情報の効果的な発信 → face to faceによる産学官交流の促進 学研都市内大学との連携強化</p> <p>(産)市内企業等 (学)北九州市立大学、九州工業大学、早稲田大学、福岡大学等 (官)FAIS、北九州市</p> <p>戦略的な研究開発・事業化支援の推進 (環境、医療・介護、エレクトロニクス、自動車、ロボット分野などの研究開発支援)</p> <p>研究開発プロジェクトの企画創出 (研究会設置、プロジェクト企画等)</p> <p>研究開発プロジェクトの企画創出 (研究会設置、プロジェクト企画等)</p> <p>研究開発プロジェクトの企画創出 (研究会設置、プロジェクト企画等)</p> <p>研究開発支援 (助成金、国等外部資金の活用)</p> <p>研究開発支援 (助成金、国等外部資金の活用)</p> <p>研究開発支援 (助成金、国等外部資金の活用)</p> <p>成果検証</p> <p>成果検証</p> <p>成果検証</p> <p>実用化・事業化に向けた継続的な支援</p> <p>(産)市内企業等 (学)北九州市立大学、九州工業大学、早稲田大学、福岡大学など (官)FAIS、北九州市</p> <p>北九州TLOにおける域内企業支援の充実 → 知財による域内企業の競争力強化 北九州知的所有権センターにおける中小企業への知的財産関連の総合支援の充実</p> <p>(産)市内企業等(学)市内大学等 (官)FAIS、福岡県、北九州市</p>	<p>雇用創出70人</p> <p>交流事業から技術相談等につながった件数:135件</p> <p>新たな研究開発に取り組む企業支援:93社</p> <p>研究開発による新たな事業展開:22社</p> <p>学研VBの創出:3件</p> <p>成長分野への新規参入支援:9件</p> <p>事業化支援件数:45件</p>		
学術・研究基盤整備の推進	<p>アジアを中心とした大学・研究機関との連携強化や最先端の研究開発環境の整備などを通じた、世界的な競争力のある研究開発基盤の形成を図ります。</p> <p>アジアの大学・研究機関との共同研究、交流の促進</p> <p>大学・大学院等、研究機関、試作・評価機関等の誘致の推進によるアジアの中核的な学術研究拠点化の推進</p> <p>学術研究都市における教育研究機能の充実</p>	<p>アジア地域の大学との共同研究開発の推進 → 研究拠点形成 学術研究都市での留学生支援</p> <p>(学)北九州市立大学、九州工業大学、早稲田大学、福岡大学等 (官)FAIS、北九州市</p> <p>アジア地域の大学との共同研究開発の推進 → 研究拠点形成 (再掲)</p> <p>(学)早稲田大学、福岡大学、九州工業大学、北九州市立大学 (官)FAIS、北九州市</p> <p>大学・研究機関等の誘致対象の選定・誘致活動の推進</p> <p>(官)福岡県、北九州市、FAIS</p> <p>学術研究都市における施設・設備の機能強化</p> <p>(官)北九州市、FAIS</p>	<p>雇用創出30人</p> <p>海外大学研究拠点件数:5機関</p> <p>外国人研究員数:61人</p> <p>留学生数:500人</p> <p>学研都市昼間人口3,100人</p> <p>企業・研究機関進出件数:30件</p>		

北九州市新成長戦略 工程表

(目標) 地域活性化のための人材育成の強化

	目指すべき姿	達成手段(施策)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	雇用創出計16人 3年間の目標
地域活性化のための人材育成の強化	<p>中小企業の人材育成はもとより、高い研究開発能力を持ち、語学力・コミュニケーション能力に優れたグローバル人材を育成し、定着を図るとともに、北九州マイスターなど、熟練技能・技術者から若年者へのものづくり技能・技術の継承を促進します。</p> <p>大学間連携の推進による、幅広い分野に対応できる人材の育成</p> <p>インターンシップの推進による産業人材の育成と市内大学のプログラムを活用した地域企業の人材育成</p> <p>高度熟練技能者による次代への技能伝承活動の促進</p>	<p>セミナー等の開催を通じた、企業経営を支える人材の育成</p> <p>大学間連携の推進による、幅広い分野に対応できる人材の育成</p> <p>インターンシップの推進による産業人材の育成と市内大学のプログラムを活用した地域企業の人材育成</p> <p>高度熟練技能者による次代への技能伝承活動の促進</p>	<p>市主催のセミナー等の企画・募集・開催</p> <p>中小企業大学校の受講料補助の実施</p> <p>(産)商工会議所 (官)北九州市、中小機構、FAIS</p> <p>北九州市立大学におけるグローバル人材育成 外国語学部に加え、文学部に拡充 法・経済・地域創生(文系全学部)に拡充</p> <p>北九州市立大学における事務局体制の強化</p> <p>まちなかESDセンターの運営、大学間連携による多様な教育の推進 外部人材の採用等による推進体制整備 プロジェクトの充実 活動拠点の拡充、事業の中間評価</p> <p>(学)北九州市立大学 (官)北九州市</p> <p>北九州地域産業人材育成フォーラムとの連携、協働によるインターンシップの実施</p> <p>九工大ドクターチャレンジプログラム、北九大MBAプログラムの活用による地域企業の人材育成</p> <p>地域産業人材育成フォーラム(企業、大学、北九州活性化協議会、北九州市などが参画した組織)</p> <p>北九州マイスター、技の達人などによる地域中小企業、高校生などへの技能伝承を推進 (企業の技能者対象「匠塾」・工業高校生対象「匠に学ぶ技能講習会」・高校生等対象の実技指導・講演等)</p> <p>北九州イノベーションギャラリーでの教育プログラム受講の促進</p> <p>(産)北九州活性化協議会、ポリテクセンター、ポリテクカレッジ (学)地域工業高校 (官)北九州市</p>	<p>市内中小企業の人材育成の支援 受講者数 600人</p> <p>雇用創出16人</p> <p>グローバル人材の育成150人 北九大の事務体制強化</p> <p>インターンシップ参加学生の市内企業就職累計率25% 地域企業の経営力強化、産学連携推進</p> <p>熟練技能・技術者によるものづくり技能・技術の継承 目標受講者数計27,349人</p>		

北九州市新成長戦略 工程表

(目標) 充実した物流基盤を活用した物流振興

					雇用創出計306人	
目指すべき姿	達成手段(施策)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	3年間の目標	
充実した物流基盤を活用した物流振興	本市のアジアに近い地理的優位性や、充実した国内ネットワークを活かし、多頻度・定時性・高速性に着目した輸送サービスの展開を推進します。これにより、地域産業の活性化に寄与するとともに、アジアにおける物流拠点を目指します。	企業ニーズに対応した付加価値の高い物流環境の整備	官民一体となったポートセールス活動による集貨・創貨の取り組み			雇用創出297人 海上出入貨物取扱量:109百万トン 海上コンテナ貨物取扱量:646千TEU 【新門司地区】耐震強化岸壁(-7.5m)の増設→平成26年度完了予定 【田野浦地区】岸壁(-9m)の改良(1期)→平成27年度完了予定
			北九州港航路集貨対策委員会 (産)地元4港運協会、北九州港振興協会、地元関係事業者 (官)北九州市	新規設備の稼働 (産) 輸送事業者	新規鉄道貨物輸送 (産)新規施設稼働事業者 輸送事業者等	
			国直轄事業による北九州港の港湾施設整備(新門司地区・田野浦地区) (官)国土交通省、北九州市			
	アジア向けコンテナ基幹航路及びシャトル化の充実、国際RORO航路や航空貨物定期便の誘致、東九州自動車道の活用などによる「集貨」の促進	新規コンテナ航路の誘致(アジア向けコンテナ基幹航路及びシャトル化の充実)			雇用創出297人(再掲) 雇用創出9人(空港)	
		国際RORO航路の誘致及び安定就航への支援				
		北九州港航路集貨対策委員会 (産)地元4港運協会、北九州港振興協会、地元関係事業者 (官)北九州市			海上出入貨物取扱量:109百万トン 海上コンテナ貨物取扱量:646千TEU(再掲) 航空貨物取扱量:30千トン	
		官民一体となった空港利用促進、新規航空会社の誘致、路線誘致への取り組み フォワーダーや地上支援業務に関する企業の業容拡大支援、誘致				
		大型機材による貨物定期便の誘致	大型貨物定期便の安定就航、増便誘致にむけた集貨支援			
		【北九州空港利用促進協議会】(行政・民間)、【北九州空港振興協議会】(民間) 【北九州空港国際航空貨物推進協議会】(行政・フォワーダー・航空会社)				
		北九州港事業継続計画(港湾BCP)の策定		北九州港事業継続計画(港湾BCP)の更新		
		(官)港湾・空港整備事務所、海上保安部など (民)港運協会、水先人会、フェリー会社など				
	効率性の高い物流基盤の維持・発展	道路整備による広域的な物流ネットワークの形成			主要幹線道路(8路線)の供用及び戸畑枝光線・恒見朽網線・一般国道3号黒崎バイパス他主要幹線道路の整備促進 (対象道路整備率) 65%	
		(産)西日本高速道路株 (官)国土交通省、北九州市				

北九州市新成長戦略 工程表

(目標)次世代自動車産業拠点の形成

	目指すべき姿	達成手段(施策)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	雇用創出計604人
			3年間の目標			
次世代自動車の工場(生産ライン)の新設	アジアとの近接性など本市の物流拠点としての強みを活かしながら、完成車メーカーと連携し、次世代自動車(FCV、電気バス等)の工場(生産ライン)の新設、関連産業の集積を図ります。	<p>自動車メーカーとの連携による次世代自動車の工場(生産ライン)の新設</p> <p>アジアからの部品調達や国内バスメーカーの協力による、電気バスの工場立地集積を図ります。</p> <p>福岡県や自動車メーカー等と連携し、充電設備や水素ステーションを整備</p> <p>次世代自動車の公道実証実験の推進</p>	<p>次世代自動車の工場(生産ライン)の新設・拡大に向けた環境整備(自動車メーカーへの働きかけ、関係部品メーカーの集積、地元企業の競争力向上)</p> <p>次世代自動車産業拠点化推進会議の設立(支援組織)(カーメーカー、研究者、シンクタンク、国、県等関係団体)</p> <p>カーボン製電気バス輸入拠点、整備/組立拠点の形成</p> <p>ゼロエミッション交通システムの運営 電気バス運行(H26.3) 太陽光発電施設稼働(H26.10) 大型蓄電池稼働(H27.4予定)</p> <p>水素ステーションの整備、FCVの導入 (産)ホンダ、トヨタ、日産 (官)福岡県</p> <p>2015年からのFCV量産に向けた実証実験の推進</p> <p>超小型モビリティの導入促進</p>	<p>FCV生産ラインのロードマップ完成</p> <p>カーボン製電気バス組立工場及び関連施設の立地具体化</p> <p>雇用創出4人</p> <p>水素ステーション設置:3箇所 FCV保有:10台</p>		
環境配慮型部品の供給基地の形成	<p>環境配慮型部品に関する新技術開発を推進し、高付加価値化や新規参入を図ります。</p> <p>関連企業の誘致等により、次世代及び環境対応自動車向け部品の供給基地形成を目指します。</p>	<p>低燃費、環境配慮等の次世代成長型部品メーカーの誘致</p> <p>次世代自動車の技術開発の支援</p> <p>自動車メーカーと大学との研究開発推進、電子電気技術・生産技術に関する研究機関の集積</p>	<p>次世代自動車に関連する部品メーカーの誘致 ・次世代自動車部品メーカー調査 ・企業立地セミナーの開催(民間との共同事業:新規誘致ターゲット開拓) ・部品メーカー向け賃貸工場(民間プロジェクト)の事業支援、ターゲット企業へのPR</p> <p>次世代自動車部品開発支援(FAIS)、開発シーズの調査、ティア1へのマッチング・提案活動</p> <p>次世代自動車部品参入・開発等に関する助成制度のPR(国、県、市等)</p> <p>国プロジェクト等申請支援、研究会運営支援など</p> <p>EV自律走行改造・実証推進</p> <p>(学)早稲田大学</p>	<p>雇用創出500人 誘致件数30件</p> <p>(平成26年度の目標) 国プロジェクト等申請:1件 研究会運営:1件</p>		
北部九州自動車産業アジア先進拠点推進構想の推進	福岡県など関係機関と連携し、国内自動車生産の九州シフトや地元調達率向上に向けて、ティア1(1次部品メーカー)の誘致及び地元部品メーカーの技術力向上に取り組みます。	<p>パーツネット北九州への一次部品メーカーの加入促進、会員企業のティア1化の支援</p> <p>北九州学術研究都市の連携大学院カーエレクトロニクスコースに加え、新たに自動車・ロボットの高度化・知能化に向けた専門人材の育成</p>	<p>「次世代自動車軽量化部品研究会」の設立、テーマ別セミナー、事業化検討</p> <p>福岡県等関係機関と連携し、商談会等のビジネスチャンス創出</p> <p>(官)福岡県、九州経済産業局、シンクタンク、日本自動車部品工業会 デンソー九州、三島光産、松本工業、石川金属工業、戸畑ターレット工作所等パーツネット北九州関係企業約80社</p> <p>連携大学院カーエレクトロニクスコースの運営</p> <p>連携大学院インテリジェントカー・ロボティクスコースの運営</p> <p>(学)九州工業大学、北九州市立大学、早稲田大学</p>	<p>雇用創出100人</p> <p>会員数:100社 新規ティア1会員:5社 既存会員ティア1化:3社</p> <p>人材輩出:75人</p> <p>人材輩出:120人</p> <p>連携大学院就職者数:135人</p>		

北九州市新成長戦略 工程表

(目標) 我が国をリードするロボット産業拠点の形成 ～ロボットと共存する街北九州～

					雇用創出計40人	
	目指すべき姿	達成手段(施策)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	3年間の目標
産業用ロボットの国内外シェアの拡大	<p>産業用ロボットの用途拡大に取り組み幅広い分野に対応するロボット開発・導入を進めます。</p> <p>あわせて、省エネ・省資源に寄与する産業用ロボットを国内外へ展開することで、産業用ロボット分野でのシェアの拡大を図ります。</p>	<p>環境配慮型高機能、コストパフォーマンスの高い製品開発・生産拠点化の推進</p>	<p>特区等を活用した製品開発、生産拠点化支援</p>	<p>地元企業への産業用ロボット導入支援による普及(導入補助、センター設置)</p>	<p>産業用ロボットの生産拡大(生産ライン新設)</p>	<p>福岡県内ロボット製造業の製造品出荷額(工業統計調査)10%以上拡大</p> <p>環境配慮型ロボット製品開発支援件数: 6件(2件/年)</p>
民生用ロボットの開発支援 ～介護・生活支援ロボットの開発支援～	<p>産業用ロボットから他分野への展開や、高齢者・障害者や介護現場のニーズに応えるロボットの研究開発、事業化を推進します。</p> <p>子供を含め多くの市民や来訪者が、ロボットやその生産技術に触れ合う機会をすることで、「ロボットと共存するまち・北九州」としての位置づけを確立します。</p>	<p>市内ロボット関連企業と大学、研究機関との連携促進 ロボット開発プロジェクトの立ち上げ、実証化、事業化支援</p> <p>医療・福祉・介護現場のニーズに対応したロボットの研究</p> <p>自動車・ロボットの高度化・知能化に向けた専門人材育成連携大学院の開設</p> <p>ロボット展示など、ショールーム化の推進や、子供を対象とした学びの機会創出</p>	<p>市内企業・大学等との連携強化、保有技術の相互活用 セミナー、講演会等の実施</p> <p>研究会運営、国等プロジェクト獲得</p> <p>新たなロボット産業振興プランの検討と策定</p> <p>連携大学院インテリジェントカー・ロボティクスコース開設</p> <p>(産)安川電機 ほか (学)北九大、九工大、早稲田大 ほか (官)福岡県、北九州市、FAIS</p> <p>産学連携フェア、ひびきの祭等での次世代ロボットの展示、北九州市民カレッジ等での講演</p> <p>(産)安川電機 ほか (学)北九大、九工大、九州職業能力開発大学校、北九州高専 ほか (官)北九州市、FAIS、KIGS</p>	<p>市内企業・大学等との連携強化、保有技術の相互活用 セミナー、講演会等の実施</p> <p>研究会運営、国等プロジェクト獲得</p> <p>振興プランに基づく市内関連企業、研究機関等との連携推進</p> <p>連携大学院インテリジェントカー・ロボティクスコースによる専門人材育成</p> <p>ロボット介護機器実証</p> <p>実証、事業化</p>	<p>産業用ロボットの生産拡大(生産ライン新設)</p> <p>環境配慮型ロボット製品開発支援</p> <p>テーマ募集・選定・研究開発 ⇒ 試作品製作 ⇒ 実証 ⇒ 事業化 の推進</p> <p>(産)安川電機 ほか産業用ロボット関連企業 (官)福岡県、北九州市</p> <p>(産)ロボット産業振興会議会員企業 (学)九工大、北九大など (官)福岡県、北九州市、FAIS</p>	<p>・国、FAIS等プロジェクト獲得支援件数:12件(4件/年)</p> <p>・研究会運営件数:21件(7件/年)</p> <p>・医療・福祉・介護ロボット実証実験支援件数:6件(2件/年)</p> <p>・雇用創出:15人</p> <p>ロボット産業振興プランの策定・事業実施</p> <p>専門人材輩出: 120人(40人/年)</p> <p>ロボットと共存するまち・北九州の都市ブランドの確立</p> <p>雇用創出:5人</p>
地域企業のロボット導入支援	<p>生産性向上に意欲的な地域企業へのロボット導入を総合的に支援するため、組織体制を整備します。システムインテグレータ等による生産技術に関する助言・指導や人材育成等を通じて地域企業のものづくり力の充実に取り組めます。</p>	<p>地元企業のものづくり力強化のために、産業用ロボットの導入を総合的に支援するための組織体制の整備</p>	<p>産業用ロボット導入支援センター開設</p> <p>セミナー等の開催(ロボット導入事例の紹介等)</p> <p>専門家による生産ラインの改善提案</p> <p>産業用ロボット導入支援補助金によるロボット導入支援</p> <p>「ロボット道場」による生産現場のロボット活用を担う人材の育成</p> <p>ロボット周辺装置の開発・導入支援を行うシステムインテグレータの育成及び派遣</p> <p>(産)安川電機、市内中小企業、(官)北九州市、FAIS</p>	<p>産業用ロボット導入支援センター開設</p> <p>セミナー等の開催(ロボット導入事例の紹介等)</p> <p>専門家による生産ラインの改善提案</p> <p>産業用ロボット導入支援補助金によるロボット導入支援</p> <p>「ロボット道場」による生産現場のロボット活用を担う人材の育成</p> <p>ロボット周辺装置の開発・導入支援を行うシステムインテグレータの育成及び派遣</p>	<p>産業用ロボットの生産拡大(生産ライン新設)</p> <p>環境配慮型ロボット製品開発支援</p> <p>テーマ募集・選定・研究開発 ⇒ 試作品製作 ⇒ 実証 ⇒ 事業化 の推進</p> <p>(産)安川電機 ほか産業用ロボット関連企業 (官)福岡県、北九州市</p> <p>(産)ロボット産業振興会議会員企業 (学)九工大、北九大など (官)福岡県、北九州市、FAIS</p>	<p>コスト削減実現企業: 18社→投資額:2.7億円 (1,500万円×18社)</p> <p>雇用創出:20人</p>

北九州市新成長戦略 工程表

(目標)豊富な実績等を活かした環境産業拠点の形成

		雇用創出計107人				
目指すべき姿	達成手段(施策)	3年間の目標				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
次世代資源循環型産業拠点の形成	<p>世界有数の都市鉱山である我が国のレアメタル、貴金属の再資源化を促進するため、北九州エコタウンを基盤として、小型電子機器、リチウムイオン電池、太陽電池のリユース・リサイクルなどの次世代資源リサイクル拠点の形成を図ります。</p> <p>また、既存環境関連技術の高度化やリサイクル原料調達等の海外展開等により、アジアの次世代資源循環型拠点を目指します。</p>	<p>新たなレアメタル素材の回収技術の開発や事業化</p>	<p>回収方法、品目検討</p>	<p>小型電子機器等リサイクル事業実施、同認定事業者支援</p>	<p>雇用創出3人</p>	
		<p>太陽光発電やリチウムイオン電池等、低炭素型製品のリユース・リサイクルシステムなどを確立</p>	<p>(産)日本磁力選鉱他 (官)北九州市、近隣市町村等</p>	<p>広域対象のPVシステム汎用リサイクル処理方法に関する研究開発事業をNEDOから受託</p>	<p>実用化検討 本格的な社会実験の開始</p>	<p>小型電子機器等回収量 800t</p>
		<p>環境関連技術の高度化・事業化の促進、高度技術シーズの掘り起こし等による環境産業の創出</p>	<p>(産)昭和シェル石油㈱、㈱新菱 (官)北九州市、FAIS</p>	<p>環境関連技術の研究開発推進、国プロジェクト事業への採択支援などによる環境産業の創出</p>	<p>(産)市内企業等 (官)北九州市、FAIS</p>	<p>PVシステム汎用リサイクル施設の実用化検討 本格的な社会実験の開始</p>
		<p>リサイクル原料の調達を中心とした海外展開の可能性を調査</p>	<p>(産)㈱光正ほか (学)北九州市立大学 (官)北九州市</p>	<p>環境未来都市、国際戦略総合特区等を活用した環境産業の創出</p>	<p>(産)エコタウン企業等 (官)北九州市</p>	<p>雇用創出20人</p>
			<p>(産)エコタウン企業、水素エネルギー事業者、 (官)北九州市</p>	<p>環境未来都市、国際戦略総合特区等を活用した環境産業の創出</p>		<p>事業化件数6件</p>
						<p>水素ステーションの設置3ヶ所</p>
環境配慮型製品・環境関連サービスの集積	<p>省エネルギー化、省資源化、長寿命化などの環境配慮型製品や、それを支える素材・部材などの環境ものづくり産業の集積</p> <p>パワーエレクトロニクスを中心とした環境エレクトロニクスについての研究や人材育成の推進</p> <p>半導体・エレクトロニクスを活用した新しい応用製品の開発のための研究開発プロジェクトの推進、高度技術人材の育成</p>	<p>環境配慮型製品や、それを支える素材・部材などの環境ものづくり産業の集積</p>	<p>企業内公共産業団地制度を活用した企業誘致 環境・エネルギー技術革新企業集積特別助成金を活用した企業誘致 等</p>	<p>(産)三菱化学㈱黒崎事業所 (官)北九州市</p>	<p>雇用創出60人</p>	
		<p>パワエレクトロニクスを中心とした環境エレクトロニクスについての研究や人材育成の推進</p>	<p>産学官での共同研究、国プロジェクト事業等への提案 環境エレクトロニクス研究会の運営 アジア成長研究所(AGI)における研究開発</p>	<p>新規立地企業の関連企業の誘致など新たな誘致手法の導入</p>	<p>新たな研究拠点化ビジョンに基づく取組みの推進</p>	<p>誘致件数6件</p>
		<p>半導体・エレクトロニクスを活用した新しい応用製品の開発のための研究開発プロジェクトの推進、高度技術人材の育成</p>	<p>(産)地域企業 (学)AGI、産業技術総合研究所、九州工業大学 (官)北九州市、FAIS</p>	<p>LEDアプリケーション創出協議会の運営、商材の事業化</p>		<p>雇用創出8人</p>
			<p>半導体・エレクトロニクスの応用分野をテーマとする新たな協議会の設置、新商材の事業化</p>	<p>LEDアプリケーション創出協議会の運営、商材の事業化</p>		<p>新規立地企業延べ件数2件</p>
			<p>(産)市内企業 (学)九州工業大学、北九州市立大学、早稲田大学、産業医科大学 (官)北九州市、FAIS</p>	<p>半導体・エレクトロニクスの応用分野をテーマとする新たな協議会の設置、新商材の事業化</p>		<p>雇用創出12人</p>
						<p>事業化8件</p>
				<p>新規立地企業数8件</p>		

北九州市新成長戦略 工程表

(目標)高齢者を中心とした健康・生活支援ビジネスの推進

					雇用創出計 21人	
	目指すべき姿	達成手段(施策)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	3年間の目標
高齢者の健康増進・長寿産業の振興	<p>地域企業、大学、医療・福祉機関、行政等の連携により、医療・福祉関連分野での課題・ニーズの共有化を図るとともに、新たなサービスの提供や製品の開発に取り組み、健康増進・長寿産業の振興を図ります。</p> <p>高齢化率の高い大都市として、高齢者の健康づくり、福祉、見守り等の分野で高齢者ニーズに対応した汎用性の高いビジネスモデルを構築し、国内外に発信します。</p>	<p>市民の健康づくりや高齢者の生活の支援などにおける新サービスの事業化への助成</p> <p>北九州医歯工連携研究会において、医療・介護分野のニーズと、大学のシーズや企業が有する技術のマッチングを行い、地域企業の医療・介護分野への参入を支援</p>	<p>「北九州市健康・生活産業振興協議会」(座学、視察などの実施)</p> <p>市民の健康で快適な生活につながる新しいサービスのビジネスプラン 募集 ⇒ 助成</p> <p>募集 ⇒ 助成</p> <p>募集 ⇒ 助成</p> <p>フォローアップ</p> <p>市内企業・大学による製品開発 製品開発への助成</p> <p>製品開発への助成</p> <p>製品開発への助成</p> <p>フォローアップ</p> <p>北九州医歯工連携研究会の運営(年2回程度)</p> <p>市内のものづくり企業の医療・介護分野への参入を促進</p> <p>地域企業、大学、FAIS、北九州市等</p>			雇用創出 15人
						雇用創出 6人
生活の質を支える生活支援ビジネスの振興	<p>高齢者や障害者をはじめ、全ての生活者が質の高い生活を送ることができるよう、健康、医療・福祉、教育・文化、住宅などの市民生活の質の向上に貢献するビジネスを振興します。</p>	<p>ロボット技術やICTの活用による医療・介護現場の負担軽減と情報提供を実現安全・安心で快適な福祉サービスの実現</p> <p>買い物に不安を抱える地域の現状を踏まえた、地域協働による買い物支援のネットワーク推進</p> <p>高齢者や環境に配慮した住宅関連製品の普及・開発による住宅リフォームの推進</p>	<p>情報共有システムの開発及び介護事業社での実証実証結果を受け、市内IT事業社による事業化の実施システム導入を検討</p> <p>ヒューマンメディア財団、北九州市</p> <p>モデル校区の計画作り</p> <p>買い物支援ネットワークの推進(買い物支援に取り組む個人、団体、事業者の情報を集約、発信)</p> <p>モデル校区、地域住民・地域活動団体・民間団体・事業者・行政</p> <p>住宅の高齢化対応リフォームやエコリフォームに対する補助制度の実施</p> <p>環境未来都市住宅リフォーム等促進事業の実施</p> <p>市内の業者が実施するリフォーム工事を要件</p>	<p>システム導入の促進に協力</p> <p>計画に基づく買い物支援の実施(地域住民、事業者、行政などが協議)</p> <p>モデル校区の事例を参考に、更なる取り組みの検討</p> <p>住まい向上リフォーム促進事業の実施</p>		システム導入事業者 11社
						高齢者が安心して買い物できる環境づくり 地域に密着した商業等の振興
						リフォーム需要の喚起(補助金交付工事における工事費用総額) 33億円/年

北九州市新成長戦略 工程表

(目標)にぎわいづくりによる集客交流産業の拡充(1)

雇用創出 1858人

区分	目指すべき姿	達成手段(施策)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	3年間の目標	
産業観光、歴史的遺産、環境観光資源等を活用した集客促進	産業都市の特性を活かした産業観光や工場夜景鑑賞ツアー、近代化産業遺産や門司港レトロなどを活用した観光客誘致を進めます。豊かな自然や響灘ピオープ、エコタウンなど多彩な環境観光資源を組み合わせた環境修学旅行やエコツアーなどにより、国内外からの集客及び関連産業の振興を図ります。	産業都市の特性を活かした産業観光や環境観光・エコツアーなどによる更なる集客促進	＜産業観光に関する取り組み＞ モニターツアー ガイド育成 など	受入体制の強化 新規受入企業開拓 など	取り組みの継続強化 ターゲット拡大 など	雇用創出 4人	
			＜環境観光に関する取り組み＞ 一般団体客への取り組み拡大 受入体制の整備 など	新規メニューを盛り込んだ商品造成 セールス活動の強化など	取り組みの継続強化 ブランド確立に向けたPR強化など	観光客数 ・産業観光 50万人 ・環境観光 8,700人 ※エコツアー含む	
			環境関連のイベント実施	定期的なエコツアーガイド等人財育成開始	環境学習の推進機能を拡充		
			〔産〕産業観光協力事業所、環境関連企業（商工会議所）（官）北九州市				
街なかのにぎわいづくり及び中心市街地活性化	街なかの魅力高め、にぎわいの創出と商業振興を図ります。	旧大連航路上屋や旧三宜楼のオープン、海峡ドラマシップや九州鉄道記念館の10周年等を機に門司港レトロ地区のさらなる集客関連産業の振興促進	・旧大連航路上屋オープニングイベント ・旧三宜楼公開 ・記念イベント ・まち歩き等のソフト充実	・既存施設の再生、利用促進 ・まち歩き等のソフト充実強化	海辺資源を活用したモニターツアー実施	海辺資源を活用したレクリエーション実施	雇用創出 7名 観光客数 ・門司港地区 197.2万人
			新規定期便を見越したチャーター便の誘致及び新規路線の誘致・定着促進	官民一体となった利用促進、路線誘致の取組み ・空港・路線PR、イベント実施 ・旅行商品造成支援 など	新規路線展開・定着支援	計画的な飛行機の導入・更新及び航空貨物地上支援業務の拡大	雇用創出 70人 空港利用者数 1,500千人 国際線チャーター 100便 国内線チャーター 20便
			北九州空港を拠点とする航空関連産業の発展	〔産〕地元航空関連事業者（官）北九州市			
	小倉都心部における若者を中心としたにぎわいづくり、集客交流の強化を図ります。	企業、大学、まちづくり団体、行政等の連携による、若者をターゲットにしたイベント等の実施	①Kitakyushu Street Dance Promotion ②(仮)Dream フェスティバル の開催		暮らしやすい生活空間の創出の検討	集客人数 4万人	
街なかのオフィスビルや空き店舗へのテナント誘致を図るとともに、古いオフィスビルのリノベーションを行い、誰もが起業しやすい環境を整えることで、雇用の拡大を図ります。そういった取り組みを通じて、街なかの魅力高め、にぎわいの創出と商業振興を図ります。	街なかオフィスビルへのテナント誘致	不動産再生を通じた雇用とにぎわいの創出	不動産関連企業とのネットワーク構築	既立地企業への情報収集		雇用創出 60人 誘致・拡張件数	
			リノベーションによる不動産再生を通じた雇用とにぎわいの創出	ビジネスノウハウを学ぶセミナー及びリノベーションスクールの開催	都心部以外への展開		雇用創出 190人 事業化物件 12件
			漫画ミュージアム、ギラヴァンツ北九州などを活かした新たな集客産業の振興	人気漫画・アニメの企画展、漫画製作教室等の開催	著名な漫画家によるトークショーなどの集客イベントの実施	〔産〕アバマンショップ、あるあるCity各テナント 〔官〕市、漫画ミュージアム	〔産〕ギラヴァンツ北九州(株)、北九州商工会議所（官）北九州市 スタジアム整備事業 〔民〕PFI事業者、〔官〕北九州市

北九州市新成長戦略 工程表

(目標)にぎわいづくりによる集客交流産業の拡充(2)

区分	目指すべき姿	達成手段(施策)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	3年間の目標	
	街なかのオフィスビルや空き店舗へのテナント誘致を図るとともに、古いオフィスビルのリノベーションを行い、誰もが起業しやすい環境を整えることで、雇用の拡大を図ります。そういった取り組みを通じて、街なかの魅力を高め、にぎわいの創出と商業振興を図ります。	小倉・黒崎地区の中心市街地における地域の集客・交流拠点としての商業活性化の取組	商店街への出店助成、専門家を活用した経営支援(再掲)				新規出店15件
			(産)新規出店企業 (官)市、FAIS中小企業支援センター				新規事業化3件
			次世代商業リーダー育成・講演会の開催(再掲)				受講者 300人
			ネットショップ売り上げアップ塾、商業セミナーの開催(再掲)				制度活用件数 3件
			戦略的・地域商業活性化支援事業等の活用による連携の実践(再掲)				制度活用件数 15件
			(産)補助金採択商店街 (官)国、北九州市				雇用創出1500人
			LED照明等の省エネ設備の設置補助(再掲)				
			商店街等による新規のイベント開催支援(再掲)				
			商業施設の新設				
地元産品の6次産業化及び農工商連携の推進	農林水産業者と工場・流通をつなぎ、地元産品を活用した新商品開発を進め、ICTを活用した商品PRを通じて販売促進を図ります。 地元食材を地域で消費する地産地消の取り組みを強化するとともに、地元農林水産物の高付加価値化を図るため、ブランド力向上に努めます。	農林水産業者が自ら行う、地元農林水産物を活用した新商品開発や食品製造・加工業者との連携による新たな産業創出の促進	農林水産業者に対する6次産業化の実現に向けた支援				雇用創出3人
			・食品加工会社に対する「農工商連携マーケティング調査」 ・生産者や食品加工会社等を対象とした「6次産業化シンポジウム」の開催 ・「食の展示商談会」出展支援	・ICTを活用した販売支援 ・生産者や食品加工会社等を対象とした「6次産業化シンポジウム」等の開催 ・「食の展示商談会」出展支援			商談成立件数 15件
			地産地消の推進	・農林水産物の消費宣伝、PR ・地産地消サポーターの活動促進	・学校給食での市内産野菜の使用拡大		・直売所等販売額 45億円(各年15億円) ・ブランド農林水産物6品目
			ブランド農林水産物のPR、販売力強化				・小倉牛生産頭数 120頭(単年度)
			地産地消サポーターへの情報提供、産地見学会、生産者と他業種との結びつけ				
			水産物の加工施設、販売施設の整備に対する助成				
			水産物のPRイベント、安全性確認の実施				
			エコフィード(ビール粕等の食品残渣飼料)による小倉牛生産の実証試験		試験出荷、販売 小倉牛の生産頭数増大		
			(産)小倉牛生産農家等 (官)北九州市				
			畜産物の加工品開発、高付加価値化				
		中小食品製造業に対する商品の企画・開発から試作・製造・販売までの一貫した支援、新商品のブランド化	中小食品製造業の新商品開発、販路開拓等の支援				雇用創出24人
			新商品の開発	食の新ブランド「北九いいと」のプロモーション			
				新商品の販路開拓	販売促進に向けた総合支援		
			(産)プロジェクト参加企業等、専門家 (官)北九州市、FAIS				

北九州市新成長戦略 工程表

(目標)サービス産業の高付加価値化の推進及び情報通信産業の集積

雇用創出計1,224人

	目指すべき姿	達成状況(施策)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	3年間の目標
サービス産業の集積促進及び高付加価値化の推進	雇用吸収力の高いサービス産業について、重点分野を定め、事業所の誘致や人材育成により集積を図ります。製造業のまちとして、培われた生産管理技術の応用やICTの活用によりサービス産業の高付加価値化を推進します。雇用吸収力の高いサービス産業について、重点分野を定め、事業所の誘致や人材育成により集積を図ります。	ネットワーク作りやセミナーの開催などを通じた「知恵のサポート」の取り組み ビジネス交流による新たなサービスの創出や第二創業の支援 高度ICT人材の育成	サービス産業の生産性向上に向けたセミナーの実施 生産性向上の取り組みを指導できる人材の育成、活用 サービス産業事業者への生産性向上の考え方、アプローチ方法の普及啓発促進 サービス産業事業者のネットワークづくり、ビジネスマッチングの場の提供 サービス産業経営者ネットワーク、支援機関ネットワークの構築 実務に即し、即戦力人材を育成する講座・研修会の実施			雇用創出25人 累計受講者数:300人
北九州の特性を活かした情報通信関連産業拠点の形成	地震などの災害が少ないという本市の地理的優位性を活かしたディザスター・リカバリー拠点化を目指す取り組みや北九州e-PORT構想に基づく拡張性の高いデータセンターや充実したICTサービス、高度ICT人材を育成する取り組みなどを通じて、情報・通信関連産業の集積を図ります。	拡張性の高いデータセンターや充実したICTサービス、高度ICT人材育成等による情報・通信関連産業の集積 ディザスター・リカバリー拠点化の推進	データセンター、情報・IT系企業の新規誘致及び立地企業の規模拡大 【顧客サポート業務や、データ入力業務を在宅で行うオペレーターの育成】 継続就業者:230人 【コンタクトセンターのオペレータを育成し、継続的な就労を支援】 継続就業者:20人 【コンタクトセンターの新規誘致】 継続案件の誘致実現 新規案件の営業強化 【立地企業既設センターの拡大】 コールセンター事業者向け人材発掘・採用支援など 【情報・IT系企業、データセンターの新規誘致】 継続案件の誘致実現、PR活動で掘り起こした企業への営業強化 【立地企業の規模拡大】 増設に伴う運用業務従事者増、大学との共同研究による研究員増 【研究開発環境の創出】 研究開発需要の掘り起こし、研究開発の促進を行う。 【立地企業の業務支援】 大学、高専、専門学校との連携により人材供給を図る。 【国内有数のDR拠点を目指したPR活動】 ・BCPの観点から本市の優位性を活かしたPR活動を実施。迅速にシステム復旧可能なDRモデルもしくは、メインサイトの北九州移設を促進 ○e-PORT推進協議会プロモーション部会の活動促進、展示会等へ出展し、PR			1,135人雇用 12件誘致 e-PORT売上 254億円
情報コンテンツ産業及び情報サービス産業の創出・育成	付加価値の高い情報コンテンツ産業、各産業分野の課題解決や付加価値を高める情報サービス産業の創出及び育成を図ります。	情報サービス産業の創出及び育成(情報産業の振興)	【地域課題に対応したICTプロジェクトを推進し、情報サービス産業を振興する。】 【現在、進行中のプロジェクト】 ○ 介護分野:介護ヘルパー向け支援システムにより、介護事業者の効率化と利便性向上を図る ○ 農業分野:農業生産者の付加価値と生産性向上と新たなICTサービスの創出を検討する など 【情報コンテンツ産業の担い手となるクリエイターを育成】 ・北九州デジタルクリエイターコンテスト・コンテスト入賞者のインセンティブ検討及び事業化支援 【(産)北九州情報サービス産業振興協会 (学)西日本工業大学 (官)ヒューマンメディア財団 シェアオフィス開設 ワークショップ、スクール等の実施による人材育成 3D化プロジェクト等による業務受注、作成 (産)不動産事業者、スタートアップ支援事業者等 (官)北九州市			新規プロジェクト3件 事業化2件 雇用創出4人 クリエイターの事業化支援3名 雇用創出 60人

北九州市新成長戦略 工程表

(目標)アジアに貢献する都市インフラビジネスの展開

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	雇用創出計22人	
目指すべき姿	達成手段(施策)				3年間の目標	
アジア低炭素化センターを核とした都市インフラビジネスの推進	エネルギー、廃棄物分野、公害対策、上下水道などの都市インフラに関する本市の技術蓄積、経験を北九州モデルとしてとりまとめ、その成果をアジア低炭素化センターを拠点としたアジア地域への都市インフラビジネスにつなげます。あわせて、相手国・地域のニーズに応じた人材育成や社会システムづくりなど、ソフト部門にもきめ細やかな対応を行うことで、総合的に都市力の向上に貢献します。	アジア低炭素化センターを中核とした、アジアを中心とした環境国際ビジネス等の海外展開推進	<p>各国のニーズに応じた各種プロジェクトの事業化支援</p> <p>案件発掘</p> <p>事業可能性調査</p> <p>実証事業</p> <p>事業化</p> <p>(産)安川電機、日本磁力選鉱、TOTO、新菱 (学)九州工業大学、北九州大学等</p>			雇用創出18人
	グリーンシティ北九州モデルの構築とパッケージ型都市環境インフラの海外進出	対象候補都市を選定、現地ニーズ調査及びセミナー等開催	<p>北九州モデルを活用した都市マスタープラン策定</p> <p>グリーンシティ輸出の展開</p>			雇用創出若干名(H28年度までに3都市)
	OECDグリーンシティ・プログラム世界普及	OECDグリーンシティ・プログラム「北九州レポート」発表及び本市環境政策の発信	<p>OECDレポート提言の本市のグリーン成長政策への反映及び市民環境力の反映</p> <p>OECD国際会議での本市環境政策等の国内外に向けた発信</p> <p>OECD等国際機関と共同での国際(協力)事業展開</p> <p>OECD等国際機関と共同での国際(協力)事業展開</p>			事業開始都市4都市/年
	実践的環境人材育成拠点の形成	各国のニーズに応じた実践的環境人材育成	<p>国内外で、研修員誘致活動を実施</p> <p>研修員(対象国)のニーズにあった研修プログラムの創設</p> <p>国際的共同研究への地元企業の参画</p> <p>研修を通じた相手国政府の政策能力向上による環境ビジネス市場の形成</p>			雇用創出4人 研修員受入数...450人/年
ワンパッケージ型の本格案件受注活動、都市インフラの一括整備における開発行為の中での上下水道一体となった海外水ビジネス展開	ウォータープラザ北九州を中核とした国際戦略拠点づくり、地元企業の海外展開支援、案件開拓等ビジネスチャンスの拡大	案件情報の収集	<p>事業実現可能性調査</p> <p>実証事業</p> <p>事業化</p>		具体的な案件受注雇用創出若干名	
	国際戦略拠点の整備	国際戦略拠点供用開始	<p>技術や製品の売り込み</p> <p>海外技術者の人材育成</p> <p>産学官連携による研究開発支援、技術売り込み</p>		具体的な案件受注雇用創出若干名	

北九州市新成長戦略 工程表

(目標)海外工場のサポート拠点の形成

					雇用創出計30人	
	目指すべき姿	達成手段(施策)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	3年間の目標
市内工場のマザー工場化の推進	<p>海外工場の生産・販売を支援するマザー工場として、市内事業所のマーケティング機能、研究開発機能及び人材育成機能の強化を図ります。</p> <p>また、アジアとの貿易のシームレス化を進め、市内マザー工場と海外工場における製品や部品の輸出入など国際水平分業に対応した物流振興を図ります。</p>	市内製造業の工場や本社機能の充実 研究開発力やマーケティング機能の強化	<p>マーケティング</p> <p>(産)市内企業 (学)北九州市立大学、九州工業大学、早稲田大学、福岡大学など (官)JETRO、北九州貿易協会、北九州市</p> <p>生産技術や製品開発等に関する研究開発</p> <p>(産)市内企業 (学)学研などの理工系大学・大学院 ほか (官)FAIS、北九州市</p> <p>海外工場との架け橋となる人材の育成</p> <p>(産)市内企業 (学)学研などの理工系大学・大学院 ほか (官)FAIS、北九州市</p> <p>官民一体となったポートセールス活動、空港利用促進、新規航空会社や路線の誘致による集貨・創貨の取組み</p> <p>(産)北九州港航路集貨対策委員会、北九州空港利用促進協議会、北九州空港振興協議会、北九州空港国際空港貨物推進協議会の構成企業 (官)北九州市</p>	マザー工場化の推進と北九州モデルの構築		<p>・交流事業から技術相談等につながった件数:135件</p> <p>・新たな研究開発に取り組む企業支援:93社</p> <p>・研究開発による新たな事業展開:22社</p> <p>グローバル人材の育成50人</p> <p>海上出入貨物取扱量:109百万トン、海上コンテナ貨物取扱量:646千TEU 航空貨物取扱量:30千トン</p>
海外工場のサポート拠点化の推進	本市の産業の強みの一つである工場・設備のオペレーション、メンテナンスなどの技術・知見・ノウハウを活かし、海外工場の生産技術サポート拠点として、省エネ・生産効率化に優れた設備、技術などをジェトロ北九州等の関係機関と連携して工業化の著しい新興国等に輸出するとともに、プラントメンテナンス部門での新たなビジネスモデルの構築を図ります。	本市の強みを活かした技術をパッケージ化し、海外企業のニーズに応じた提案をすることにより、省エネや生産性向上に寄与する技術や設備の販路を拡大	<p>技術パッケージのデータベースの構築</p> <p>(産)市内企業 (官)北九州市</p> <p>・協議会の設置 ・海外ニーズ調査 ・ITを活用したメンテナンス技術の検討 ・サポート体制の検討</p> <p>(産)北九州メンテナンス技術研究会(KME)、市内企業等</p>	<p>新規売込み地域の調査</p> <p>海外ミッションの派遣・商談</p> <p>事業化に向けた技術・システム、ノウハウ、管理体制等の検討、人材の確保及び育成</p> <p>モデル事業実施サポート体制の確立</p> <p>確立した技術の売り込み</p> <p>(官)KITA、北九州市</p>	<p>トライアル納期と成約に向けた商談</p>	<p>商談件数20件</p> <p>雇用創出30人</p> <p>海外からの受注件数3件</p>

北九州市新成長戦略 工程表

(目標)北九州発ブランドの海外ビジネス支援

					雇用創出計10人	
	目指すべき姿	達成手段(施策)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	3年間の目標
中小製造業の海外ビジネス支援	マーケティング、商談等の機会充実など、ビジネスチャンスの拡大と参入企業の裾野拡大を図ります。	北九州ブランド製品・技術の海外見本市等へ出展し、ビジネス機会の拡大促進	ブランド戦略プロジェクト デザイナーの指導を踏まえ、海外に売れる生活雑貨を開発(国内・海外見本市に参加)			雇用創出 2人 見本市での商談件数 90件/3年 海外見本市等出展助成事業に係る交付件数 18件/3年 成功事例集閲覧回数 1,000回/2年
		海外進出成功事例集の作成など企業の海外取引意欲向上促進	(産)MOZIDECO参加企業 「海外見本市等出展助成事業」を活用した市内企業の国際ビジネス支援 海外進出成功事例集の作成 成功事例のPR			
飲食、小売、サービス業の海外ビジネス支援	市内の飲食・小売・サービス業の海外展開に対し、JETRO北九州など関係機関と連携して情報提供、事業化の支援を行います。	地域企業が行う現地での実証実験・事業可能性調査を推進し、海外ビジネスを支援	<地域間交流支援事業(RIT事業)の推進> 韓国/ベトナム RIT事業3年目 ①新規案件の発掘・調査 ②ミッション派遣 ③成約有力企業招へい	トルコ/ドイツ RIT事業(事前調査) ①調査団の派遣 ②現地企業の需要調査 ③RIT本事業への申請検討		雇用創出 4人 RIT商談件数 90件/3年 技術パッケージ商談件数 20件/3年 助成金交付件数 6件/3年
		海外投資環境に関する情報提供及び企業が行う海外営業拠点の開設・市場調査を支援	北九州市技術パッケージ型販路拡大事業の推進 現地ニーズ調査にもとづき、技術のパッケージ化を行い、海外企業へ売り込みを行う (産)市内企業 (機関)JETRO北九州 (官)北九州市			
		海外テストマーケティング機会の提供	JETRO北九州、北九州貿易協会と連携して、①セミナーやJETRO海外事務所などを通じての海外情報の提供、②貿易アドバイザーによる貿易相談、③海外へのミッション派遣・商談会の開催を実施 (機関)JETRO北九州、北九州貿易協会 (官)北九州市			
			「中小企業アジア環境ビジネス展開支援事業助成金」を活用した市内中小企業の国際ビジネス支援 「北九州市中小企業海外展開支援助成金」を活用した市内企業の国際ビジネス支援 大連デスクを活用した市内企業の商談支援 東アジア販路拡大支援事業(JETRO主催アジアキャラバン事業など)の推進 ①出展支援、②商談会開催、③継続案件のフォローアップ (産)ふくおかFFGほか (機関)JETRO北九州ほか (官)北九州市			雇用創出 4人 KTI相談件数 4,500件/3年 セミナー開催回数 150回/3年 ミッション派遣回数 45回/3年 助成金交付件数 30件/3年 大連デスク・アジアキャラバン商談件数 120件/3年

北九州市新成長戦略 工程表

(目標)省エネルギー(ネガワット)の推進(1)

		雇用創出計70人
目指すべき姿	達成手段(施策)	3年間の目標
省エネ施策の推進	<p>地域企業の省エネルギーを徹底することにより、エネルギーに強い企業体質への転換を図るとともに、エネルギー効率強化による生産性向上を通じて競争力を高めます。</p> <p>地域企業の省エネルギーを徹底することにより、エネルギーに強い企業体質への転換を図るとともに、エネルギー効率強化による生産性及び競争力の向上</p> <p>省エネ診断員の普及の支援、中小企業向け補助事業や融資の活用により、地域企業の省エネ化を推進</p>	<p>平成25年度</p> <p>地域エネルギーマネジメント・洋上風力発電・基幹エネルギーの調査・検討・事業化準備</p>
		<p>平成26年度</p> <p>市役所省エネ・節電を推進。市民等に省エネ・節電を広く浸透</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市有施設の使用電力量平成22年度比▲10% ・エネルギー消費原単位の改善で、市有施設の総エネルギー使用量の年1%以上の改善
		<p>平成27年度</p> <p>市内中小企業の省エネルギー化を促進し、低炭素社会作りを図るとともに新たなビジネスの創出や市内における投資を促進。</p> <p>補助金交付件数102件</p> <p>補助金交付件数100件</p> <p>補助金交付件数100件</p>
		<p>市内において環境・エネルギーに関する設備投資を行う企業等に対し、必要な資金を融資することにより、低炭素社会づくりと北九州市経済の振興を図る。</p> <p>融資件数 5件</p> <p>融資件数 10件</p> <p>融資件数 10件</p>
		<p>事業化をめざす</p>
		<p>・市内直接投資額 15億円</p> <p>・省エネ 1,800,000kWh</p>
		<p>融資件数延べ 30件</p>
		<p>・延べ補助件数 :527件</p> <p>・経済波及効果(延べ販売総額) :869百万円</p>
		<p>家庭用燃料電池(エネファーム)の導入量を促進するもの。</p> <p>補助件数150件 導入件数393件 販売総額601百万円</p> <p>補助件数150件 導入件数150件 販売総額247百万円</p> <p>補助件数150件 導入件数150件 販売総額247百万円</p>

北九州市新成長戦略 工程表

(目標)省エネルギー(ネガワット)の推進(2)

	目指すべき姿	達成手段(施策)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	3年間の目標
スマートコミュニティのビジネス化	世界が目指する本市スマートコミュニティ実証事業の成果を早期にビジネス化し、市場を牽引します。	世界が目指する本市スマートコミュニティ実証事業の成果を早期にビジネス化し、市場を牽引	北九州スマートコミュニティ創造事業による 研究開発・実証事業の実施	北九州スマートコミュニティ創造事業の 国内外への展開		市内企業による スマートコミュニティ 関連製品売上 70億円
市域全体へのスマート化の促進	東田地区へのスマートコミュニティの成果を、城野地区へ展開し、社会実装を進めます。 また、多くのエネルギーがあり、多様な産業が集積している響灘地区において響灘スマートインダストリ(産業版スマートグリッド)の実現を目指します。	東田地区へのスマートコミュニティの成果を、城野地区へ展開し、社会実装を進めます。また、多くのエネルギーがあり、多様な産業が集積している響灘地区において響灘スマートインダストリ(産業版スマートグリッド)の実現 省エネ、スマートコミュニティに関するビジネスに地域企業が数多く参入するための仕組みを構築 ネガワット取引や地域節電所など、新しいエネルギービジネスを創出	城野駅北土地区画整理事業の本格的工事着手 城野におけるエネルギーマネジメント方針の策定 地域エネルギーマネジメント・洋上風力発電・基幹エネルギーの調査・検討・事業化準備 北九州スマートコミュニティ創造事業による研究開発・実証事業の実施	北九州病院工事着手 エネルギーマネジメント事業者と共に、エネルギー方針に沿ったエネルギーシステムの検討 住宅工事着手 北九州スマートコミュニティ創造事業の国内外への展開	H27年度後半 まちびらき 駅前広場、自由通路、公園の工事完了予定 平成28年春開業予定 一部住宅完成 エネルギーマネジメントシステムの構築 事業化をめざす	雇用創出 70人 整備戸数:約100戸 入居人口:約230人 CO2削減: 約1259t-CO2 地域企業との連携 (共同研究)2件 新規立地企業数 1件

北九州市新成長戦略 工程表

(目標)再生可能エネルギー・基幹エネルギーの創出拠点の形成

	目指すべき姿	達成手段(施策)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	雇用創出計111人 3年間の目標
再生可能エネルギーの立地促進	太陽光、風力、潮力等再生可能エネルギーの市内への最大限の導入を図るとともに、それに伴う地域企業の新エネルギービジネスの展開を促進します。	太陽光、風力、潮力等再生可能エネルギーの市内への最大限の導入を図るとともに、それに伴う地域企業の新エネルギービジネスの展開を促進 洋上風力発電の可能性を視野に入れた立地促進 水力発電やバイオマス、地中熱利用等についても、さらなる可能性を視野に入れた導入促進	地域エネルギーマネジメント・洋上風力発電・基幹エネルギーの調査・検討・事業化準備 関門潮流発電の実証 北九州水素タウンの実証 小水力発電の新規建設 1箇所	既設小水力発電の改修 1箇所	事業化をめざす 既設小水力発電の改修 1箇所	○ 地域エネルギーマネジメントの事業化をめざす ○ 洋上風力発電・基幹発電の事業化をめざす
基幹エネルギーの立地促進	再生可能エネルギーの大量導入を支えるために、また、電力不足の解消等エネルギーの安定供給のためには、基幹エネルギーも不可欠です。高効率石炭火力発電やLNG火力発電、コジェネ等の可能性を視野に入れ、立地促進につなげます。	高効率石炭火力発電やLNG火力発電、コジェネ等の可能性を視野に入れた立地促進	地域エネルギーマネジメント・洋上風力発電・基幹エネルギーの調査・検討・事業化準備		事業化をめざす	
再生可能エネルギー産業の拠点化推進	北九州市太陽光発電普及促進協議会を通じた太陽光発電関連部材産業の開発促進や、グリーンエネルギーポートひびき構想のもとでの響灘地区へのエネルギー産業の拠点化など、その推進を図ります。	北九州市太陽光発電普及促進協議会を通じた太陽光発電関連部材産業の開発促進や、グリーンエネルギーポートひびき構想のもとでの響灘地区へのエネルギー産業の拠点化推進	関門潮流発電の実証 北九州水素タウンの実証 風力発電産業総合拠点化「実証研究」拠点の形成 「物流」拠点の形成 環境・エネルギー産業の立地促進	風力発電産業総合拠点化「実証研究」拠点の形成 「物流」拠点の形成 環境・エネルギー産業の立地促進 雇用 66人 誘致件数 8件	風力発電産業総合拠点化「物流」拠点の形成 「メンテナンス」拠点形成 「製造」拠点の形成 環境・エネルギー産業の立地促進 雇用 45人 誘致件数 6件	雇用 111人 誘致件数 14件
再生可能エネルギーの普及支援	導入相談窓口の活用や太陽光発電普及会社の設立・誘致、補助金制度などにより、再生可能エネルギーの普及支援を行います。	導入相談窓口の活用や太陽光発電普及会社の設立・誘致、補助金制度などによる、再生可能エネルギーの普及支援 補助事業や融資などによる、再生可能エネルギーの普及促進	関門潮流発電の実証 北九州水素タウンの実証 地球温暖化対策を推進していくためには、温室効果ガスを排出しない新エネルギーの導入が必要である。補助金を交付することで、市内における家庭用燃料電池(エネファーム)の導入量を促進するもの。 延べ補助件数: 227件 延べ導入件数: 520件 経済波及効果(延べ販売総額): 796百万円	延べ補助件数: 377件 延べ導入件数: 670件 経済波及効果(延べ販売総額): 1,025百万円		延べ補助件数: 527件 経済波及効果(延べ販売総額): 869百万円

北九州市新成長戦略 工程表

(目標)安定・安価で賢いエネルギー網の構築

雇用創出計0人

	目指すべき姿	達成手段(施策)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	3年間の目標
安定して産業活動ができるようなエネルギー基盤の創出	省エネルギー・再生可能エネルギー・基幹エネルギーをうまく組み合わせ、事業活動が将来にわたって安心して行えるエネルギー基盤を構築します。	省エネルギー・再生可能エネルギー・基幹エネルギーをうまく組み合わせた事業活動が将来にわたって安心して行えるエネルギー基盤の構築 響灘地区など洞海湾周辺の産業集積エリアなどにおける、企業の基盤となる電力インフラや新電力等を活用した安定・安価な電力供給の実現	<p>「調査・検討」 「北九州市地域エネルギー推進会議」の設立</p> <p>地域エネルギー マネジメントの検討</p> <p>洋上風力発電の調査・検討</p> <p>基幹エネルギーの調査・検討</p>	<p>事業化の準備・検討</p> <p>事業者の環境アセスなどを通じ事業化をめざす</p>	<p>事業化をめざす</p>	<p>○ 地域エネルギーマネジメントの事業化をめざす</p> <p>○ 洋上風力発電・基幹発電の事業化をめざす</p>
地域のエネルギーインフラを最大限活用する最先端の産業コンビナートの構築	産業集積エリアにおいて電力・熱などのエネルギーインフラを最大限活用する最先端の産業エネルギーコンビナートの構築を目指します。 また、企業の余熱等の調査を進め、電力・熱などの企業間相互融通の可能性を検討します。	産業集積エリアにおいて電力・熱などのエネルギーインフラを最大限活用する最先端の産業エネルギーコンビナートの構築 企業の余熱等の調査を進め、電力・熱などの企業間相互融通の可能性を検討	<p>「調査・検討」 「北九州市地域エネルギー推進会議」の設立</p> <p>地域エネルギー マネジメントの検討</p> <p>洋上風力発電の調査・検討</p> <p>基幹エネルギーの調査・検討</p>	<p>事業化の準備・検討</p> <p>事業者の環境アセスなどを通じ事業化をめざす</p>	<p>事業化をめざす</p>	
広域貢献するエネルギー網の環境整備	釜山広域市とのエネルギー協約など、市域のみならず国際連携など広域貢献も視野に入れ、関係団体との関係を構築します。	釜山広域市とのエネルギー協約など、市域のみならず国際連携など広域貢献も視野に入れた関係団体との関係を構築	<p>「調査・検討」 「北九州市地域エネルギー推進会議」の設立</p> <p>地域エネルギー マネジメントの検討</p> <p>洋上風力発電の調査・検討</p> <p>基幹エネルギーの調査・検討</p>	<p>事業化の準備・検討</p> <p>事業者の環境アセスなどを通じ事業化をめざす</p>	<p>事業化をめざす</p>	

北九州市新成長戦略 工程表

(目標) 雇用創出に向けて(1)

					雇用創出計2,924人	
目指すべき姿	達成手段(施策)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	3年間の目標	
若年者の就業意識の啓発や能力開発・就職活動への支援	若年求職者と求人企業とのマッチングにあたっては、就業に必要な能力の向上、スキル取得への支援や就労体験を盛り込んだマッチングなど、求職者及び企業ニーズへのきめ細かな対応を行います。 学生をはじめとした若者の地元就職を進める上で、地域企業の魅力・情報を積極的に発信していきます。	若者ワークプラザ北九州を拠点とした就業相談や職業紹介等 若年者の求人開拓	専門家による就業相談、セミナー、職業紹介等		就職者数 3,600人	
			事業所訪問による求人開拓			
		中途求職者の正規雇用を促進するためのマッチング等	地元中小企業での職場見学、就労体験等		就職者数 126人	
			正規採用予定のある地元中小企業による合同会社説明会			
		求職者の早期就職に向けた資格取得への支援	新規事業に伴う新たな正規雇用への補助		雇用創出150人	
			資格取得講座		講座修了336人 就職者数135人	
		新卒未就職者への研修と採用予定企業でのOJT	資格取得・研修などスキルアップ支援	国・県で行われている類似事業の実施状況などを踏まえた検討		就職者数75人
			地元企業の情報・魅力発信 新卒学生と地元企業とのマッチング	就職情報サイトへの地元企業情報の掲載企業数の増加と情報の充実	新規事業に伴う新たな正規雇用への人件費の補助など	中小企業への若年者の就職の増加
		事業所訪問による求人開拓		地元中小企業による合同会社説明会の開催		参加企業450社 参加者4,500人
				(産)北九州商工会議所、北九州雇用対策協会 (官)福岡労働局、北九州市		
U・Iターンによる地元企業への即戦力人材就職促進	小・中学生からの職業観の育成	U・Iターン希望者の掘り起こし、専門家による就業相談、職業紹介等		就職者数330人		
		マイスター、技の達人の実演・講演		受講者数 3,700人(累計)		
女性が活躍する産業都市づくりの推進	就業に必要な能力の向上、スキル取得への支援や就労体験を盛り込んだマッチングなど、求職者及び企業ニーズへのきめ細かな対応を行います。	就業意欲のある女性への再就職支援	ターゲット層向けの啓発イベントなどの実施	企業見学、就業体験など多様な就業支援講座の実施	再就職の実現	就職者数30人
			在宅オペレーターの育成	在宅オペレーターの業務拡大		雇用創出230人
		コールセンター業務経験者を在宅オペレーターとして活用				
		(産)富士通コミュニケーションサービス (官)北九州市				

北九州市新成長戦略 工程表

(目標) 雇用創出に向けて(2)

目指すべき姿	達成手段(施策)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	3年間の目標
	<p>就職や再就職を目指す女性のキャリアアップ等</p> <p>ワーク・ライフ・バランス(WLB)への企業等の取組支援、広報・啓発</p> <p>子育て世代の女性が安心して働くことができるように保育所等を充実</p>	<p>男女共同参画センター等での就業支援講座</p>	<p>北九州市WLB推進協議会、WLB表彰、WLB推進アドバイザー派遣</p> <p>民間保育所の新規開設、既存保育所の定員増</p> <p>延長保育等多様化する保育ニーズへの対応</p> <p>放課後児童クラブの利用児童数増への対応</p>		<p>受講者数 24,000人</p> <p>WLB表彰 15社(人)</p> <p>雇用創出42人</p> <p>雇用創出32人</p> <p>雇用創出60人</p>
<p>能力や意欲を生かした中高年齢者や障害者の就業促進</p>	<p>求職者の経験、能力等に応じた就業に必要な能力の向上、スキル取得へのきめ細かな対応を行います。</p> <p>地域企業の障害者雇用の更なる充実を図ります。</p>	<p>生涯現役で社会や地域で活躍する人材の育成</p> <p>シティハローワーク・ウェルとばたと高齢者就業支援センターの一体的運営による中高年齢者の就業促進</p> <p>北九州障害者しごとサポートセンターを通じた、障害者及び雇用企業の支援</p>	<p>生涯現役夢追塾</p> <p>高齢者への就業相談、求人情報の提供、就業支援セミナー等</p> <p>一般求職者へのキャリアカウンセリング、能力開発講座等</p> <p>改正障害者雇用促進法を踏まえた障害者への就業等に関する指導・助言、企業向け雇用促進面談会、企業向け雇用促進セミナー等のきめ細やかな支援、障害者の就職促進</p> <p>先行事例の紹介</p> <p>(官)国、福岡県、北九州市</p>		<p>卒業生のうち夢を実現した人数 増加</p> <p>センター利用者数 30,000人</p> <p>就職者数255人</p>
<p>医療・介護・福祉・子育て支援分野での計画推進による雇用創出</p>	<p>雇用吸収力の高い産業の振興により、多くの雇用の創出に取り組みます。</p> <p>就業に必要な能力の向上、スキル取得への支援を行うなど、求職者と及び企業ニーズへのきめ細かな支援を行います。</p>	<p>保健福祉の基本的計画に基づくサービスの推進による医療・福祉・介護の雇用創出</p> <p>福祉人材バンクの運営、潜在的有資格者への就労支援などによる介護人材の確保・育成の推進</p> <p>質の高い保育の実現による保育所をはじめとする子育て分野での雇用拡大</p>	<p>特別養護老人ホーム等の新設、在宅サービスの充実</p> <p>グループホームの整備、障害福祉サービスの充実</p> <p>福祉人材バンクによる福祉人材確保</p> <p>就労していない有資格者への職業紹介等</p> <p>紹介予定派遣による有資格者の就労を支援</p> <p>障害福祉サービス事業所従業者の職場定着等に向けた研修支援</p> <p>(産)市内介護事業所、北九州市福祉人材バンク (学)市内大学、高校など (官)北九州市</p> <p>国の配置基準を上回る保育士の配置</p> <p>保育所園庭の芝生化</p>	<p>次期高齢者支援計画、障害者支援計画に基づくサービスの実施</p> <p>次期高齢者支援計画に基づく介護人材の確保・育成</p>	<p>雇用創出 2,153人 (25・26年度)</p> <p>雇用創出165人 (25・26年度)</p> <p>雇用創出91人</p> <p>雇用創出1人</p>